

## 平成27年第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会会議録目次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 招集告示                       | 1  |
| 応招・不応招議員                   | 2  |
| 第 1 日 (8月21日)              |    |
| 議事日程                       | 3  |
| 出席議員                       | 4  |
| 欠席議員                       | 4  |
| 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した人 | 4  |
| 職務のため出席した事務局職員             | 4  |
| 開会及び開議の宣告                  | 5  |
| 議事日程の報告                    | 5  |
| 会議録署名議員の指名                 | 5  |
| 議会運営委員長の報告                 | 5  |
| 会期の決定                      | 6  |
| 諸般の報告                      | 6  |
| 管理者行政報告                    | 6  |
| 一般質問                       | 7  |
| 閉会中の継続審査の件                 | 11 |
| 管理者挨拶                      | 11 |
| 閉会の宣告                      | 11 |

埼玉中部資源循環組合告示第8号

平成27年第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会を次のとおり招集する。

平成27年8月14日

埼玉中部資源循環組合  
管理者 新井保美

1 期 日 平成27年8月21日 午前10時

2 場 所 吉見町議会議場

○ 応 招 ・ 不 応 招 議 員

○ 応 招 議 員 ( 2 0 名 )

|       |   |   |   |   |     |       |   |   |   |   |     |     |
|-------|---|---|---|---|-----|-------|---|---|---|---|-----|-----|
| 1 番   | 斎 | 藤 | 雅 | 男 | 議 員 | 2 番   | 堀 | 越 | 博 | 文 | 議 員 |     |
| 3 番   | 坂 | 本 | 俊 | 夫 | 議 員 | 4 番   | 佐 | 藤 |   | 洋 | 議 員 |     |
| 5 番   | 臼 | 田 | 喜 | 之 | 議 員 | 6 番   | 仲 | 又 | 清 | 美 | 議 員 |     |
| 7 番   | 田 | 幡 | 宇 | 市 | 議 員 | 8 番   | 菅 | 間 | 孝 | 夫 | 議 員 |     |
| 9 番   | 畠 | 山 | 美 | 幸 | 議 員 | 1 0 番 | 青 | 柳 | 賢 | 治 | 議 員 |     |
| 1 1 番 | 山 | 口 | 勝 | 士 | 議 員 | 1 2 番 | 戸 | 口 |   | 勝 | 議 員 |     |
| 1 3 番 | 小 | 林 | 一 | 雄 | 議 員 | 1 4 番 | 安 | 孫 | 子 | 和 | 子   | 議 員 |
| 1 5 番 | 岩 | 崎 |   | 勤 | 議 員 | 1 6 番 | 小 | 宮 |   | 榮 | 議 員 |     |
| 1 7 番 | 野 | 口 | 守 | 隆 | 議 員 | 1 8 番 | 小 | 宮 |   | 正 | 議 員 |     |
| 1 9 番 | 高 | 野 | 貞 | 宜 | 議 員 | 2 0 番 | 渡 | 邊 |   | 均 | 議 員 |     |

○ 不 応 招 議 員 ( な し )

## 平成27年第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会

平成27年8月21日（金）

### 議 事 日 程

- 第 1 開 会
- 第 2 開 議
- 第 3 会議録署名議員の指名
- 第 4 議会運営委員長の報告
- 第 5 会期の決定
- 第 6 諸般の報告
  - ・ 例月出納検査報告（平成27年度4月～5月）
  - ・ 説明員及び説明委任者
- 第 7 管理者行政報告
  - ・ 管理者挨拶及び行政報告
- 第 8 一般質問
- 第 9 閉会中の継続審査
- 第10 管理者挨拶
- 第11 閉 議
- 第12 閉 会

○出席議員（20名）

|     |      |    |     |       |    |
|-----|------|----|-----|-------|----|
| 1番  | 斎藤雅男 | 議員 | 2番  | 堀越博文  | 議員 |
| 3番  | 坂本俊夫 | 議員 | 4番  | 佐藤洋   | 議員 |
| 5番  | 臼田喜之 | 議員 | 6番  | 仲又清美  | 議員 |
| 7番  | 田幡宇市 | 議員 | 8番  | 菅間孝夫  | 議員 |
| 9番  | 島山美幸 | 議員 | 10番 | 青柳賢治  | 議員 |
| 11番 | 山口勝士 | 議員 | 12番 | 戸口勝   | 議員 |
| 13番 | 小林一雄 | 議員 | 14番 | 安孫子和子 | 議員 |
| 15番 | 岩崎勤  | 議員 | 16番 | 小宮榮   | 議員 |
| 17番 | 野口守隆 | 議員 | 18番 | 小宮正   | 議員 |
| 19番 | 高野貞宜 | 議員 | 20番 | 渡邊均   | 議員 |

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した人

|           |        |       |
|-----------|--------|-------|
| 管 理 者     | 吉見町長   | 新井保美君 |
| 副 管 理 者   | 東松山市長  | 森田光一君 |
| 副 管 理 者   | 桶川市長   | 小野克典君 |
| 副 管 理 者   | 滑川町長   | 吉田昇君  |
| 副 管 理 者   | 嵐山町長   | 岩澤勝君  |
| 副 管 理 者   | 小川町長   | 松本恒夫君 |
| 副 管 理 者   | ときがわ町長 | 関口定男君 |
| 副 管 理 者   | 東秩父村長  | 足立理助君 |
| 会 計 管 理 者 |        | 小川福美君 |
| 事 務 局 長   |        | 根岸正己君 |
| 総 務 課 長   |        | 戸口好久君 |
| 施 設 課 長   |        | 中野欽章君 |

○職務のため出席した事務局職員

|       |      |
|-------|------|
| 書 記 長 | 内野隆  |
| 書 記   | 梅澤敏志 |

---

◎開会及び開議の宣告

(午前10時00分)

○小宮 榮議長 皆さん、おはようございます。出席議員が定足数に達しておりますので、会議は成  
立いたしました。

ただいまから平成27年第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開  
きます。

---

◎議事日程の報告

○小宮 榮議長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付いたしましたとおりでございます。

---

◎会議録署名議員の指名

○小宮 榮議長 ここで会議録署名議員を指名いたします。

会議規則第87条の規定により、議長において指名いたします。

3番、坂本俊夫議員、4番、佐藤洋議員を指名いたします。

---

◎議会運営委員長の報告

○小宮 榮議長 これより議会運営委員会の報告を臼田委員長をお願いいたします。

臼田委員長。

[臼田喜之議会運営委員長登壇]

○臼田喜之議会運営委員長 皆さん、おはようございます。議長のお許しをいただきましたので、議  
事日程第4、議会運営委員長の報告をさせていただきます。

去る8月10日午前10時から、吉見町福祉会館におきまして、本日の議事日程等について協議をい  
たしました。皆様のお手元に配付してございます議事日程について順次説明を申し上げます。

日程第5、会期につきましては、本日1日限りといたします。

日程第6、諸般の報告。

日程第7、管理者行政報告。

日程第8、一般質問。質問通告者は1名でございます。なお、質問は、再質問、再々質問の3回  
までとし、答弁を含めて30分以内とさせていただきます。よろしく願いいたします。

日程第9、閉会中の継続審査でございます。特定事件について、閉会中に継続審査を行いたい旨  
を議長に申し出ました。

日程については以上です。

また、8月10日の議会運営委員会では、6月15日に川島町から当組合に加入の申し入れがあり、  
8月3日の正副管理者会議で了承が得られたこと。今後、川島町と構成8市町村の議会で可決され

た後、埼玉県 of 許可を受け、川島町が正式加入となる旨の報告がありました。

また、ごみ処理施設の建設に向けて建設検討委員会委員を選出すること、先進地の事例を参考とするため議会の行政視察研修会を実施することを協議いたしました。

以上、簡単ではございますが、議会運営委員長 of 報告とさせていただきます。

○小宮 榮議長 ありがとうございます。

---

#### ◎会期の決定

○小宮 榮議長 次に、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今回の定例会 of 会期は、議会運営委員長 of 報告のとおり、本日1日限りとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小宮 榮議長 ご異議なしと認めます。

よって、今回定例会 of 会期は本日1日限りと決定いたしました。

---

#### ◎諸般の報告

○小宮 榮議長 次に、諸般の報告をいたします。

初めに、監査委員から、平成27年度4月分及び5月分 of 例月出納検査結果 of 報告がありましたので、お手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

次に、今期定例会に説明員並びに説明委任者として出席する者の職、氏名を一覧表としてお手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

---

#### ◎管理者行政報告

○小宮 榮議長 次に、管理者から挨拶並びに行政報告について発言を求められておりますので、これを許可いたします。

新井保美管理者。

〔新井保美管理者登壇〕

○新井保美管理者 皆さん、おはようございます。本日、平成27年第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様におかれましてはご参集を賜り、会議が開催できますことに心から厚く御礼を申し上げます。

議長のお許しをいただきましたので、組合 of 事業について行政報告を申し上げます。

当組合は、平成27年2月12日に埼玉県 of 許可を受け、4月1日に正式に発足し、事務局を吉見町福祉会館内に設置いたしました。総務関係では、4月から6月までに情報公開請求が5件ございました。その中の1件について異議申し立てがあり、現在審査会にて審査中でございます。

また、組合の監査委員に対し、住民監査請求が1件提出されました。結果につきましては、送付済みとの報告を受けております。

6月15日には、川島町から当組合への加入の申し入れがあり、正副管理者で協議いたしました。今後、構成市町村の議会の規約変更議決をいただいた後、法定協議の手続を経て、埼玉県知事の許可後に加入する見込みでございます。

施設関係では、今後、地権者の合意をいただいて、測量や地質調査を実施する予定となっております。また、環境アセスメントの計画書の作成や、川島町の加入に伴うごみ処理基本計画の変更、循環型社会形成推進地域計画の変更等の手続を実施してまいります。

現在、事務事業に若干のおくれが生じておりますが、予定しております平成33年度稼働のスケジュールには影響がないものと考えております。

以上、開会に当たりましての挨拶と行政報告とさせていただきます。

---

#### ◎一般質問

○小宮 榮議長 次に、日程に従い一般質問を行います。

12番、戸口勝議員。

[12番 戸口 勝議員登壇]

○12番 戸口 勝議員 発言番号1番、議席番号12番、戸口勝でございます。議長の許可をいただきましたので、発言通告に従いまして一般質問を始めさせていただきます。組合最初の一般質問ということで大変緊張しておりますけれども、ぜひ緊張感を持ってやっていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

1、ごみ処理施設の建設費に関する件。

①、オリンピック会場建設計画期間と新ごみ処理施設建設計画期間が同時期となるが、建設費の高騰は視野に入れているのか。

②、新ごみ処理施設建設を進めていく中で、健康増進施設を併設するとともに、農産物の販売にも配慮いただきたいとの要望が出ており、その要望をのせた周辺整備計画で進んでいるものと考えらる。全ての要望をかなえる意志があるのか。

③、日本創成会議の推計として、埼玉県内の自治体消滅予測に構成自治団体が6つ入っている。この状況を鑑み、さらには実態財政を把握する中で、今後の建設費抑制にかじを切るべきと考えるが、意志を伺う。

今回の新ごみ処理施設運営、建設に関して、1つの市町村では適切に処理していくことが困難であることから、広域行政という枠組みの中で協力、連携がされている。しかし、オリンピック会場の建設需要による外的要因や周辺住民の要望により、建設費の高騰、増加が予測される。しかし、構成自治団体の懐事情は厳しいものがあり、さらには消滅自治体として9分の6が名指しをされて



いる現状。このような中での運営となるが、全ての建設費に係る抑制の意志があるのかを伺う。

以上、よろしくお願いいたします。

○小宮 榮議長 戸口議員の質問に対して答弁を求めます。

新井保美管理者。

○新井保美管理者 それでは、戸口議員さんのご質問にお答え申し上げます。

まず、1点目のご質問でございますが、本年7月の東京都区部の建設資材物価指数、これを見ますと、平成17年を100とした場合116.0で、東日本大震災の災害復興事業や景気の回復傾向などにより上昇傾向にございます。これは、建設需要が拡大する一方で、長期的な建設技能労働者不足や資材価格上昇などが原因というふうに言われております。

こうした状況の中で事業を進めることとなりますが、お話しのように平成32年の東京オリンピックに向けて競技関連施設等の整備が計画されておまして、それに伴う建設費の上昇も考えられるところでございます。引き続き社会経済情勢を注視しつつ、適切な時期に業務を発注すべく取り組んでまいりたいと、このように考えております。

2点目の周辺整備につきましては、平成26年3月に策定いたしました新ごみ処理施設整備構想において、施設整備の具体的方策として、事業の推進に当たっては構成市町村との緊密な連携のもと、住民生活に真に必要な施設を最も効率的かつ経済的な手法で実施し、地域おこしと地域づくりを推進する、このようにしております。周辺整備につきましても、こうした観点から構成市町村と協議の上、進めてまいります。

3点目でございますが、ごみ処理施設の建設費を決定する最大の要素は処理能力、つまり施設規模でございます。処理能力の基礎となりますごみ排出量は、1人1日当たりのごみの排出量と、将来人口をもとに予測をいたします。人口増減だけでは読み切れない事業系のごみ量、さらに構成市町村のごみの減量化に向けた取り組み等も把握いたしまして、より適正な施設規模の算定に努めてまいります。なお、施設規模は今後の施設整備基本計画で、その詳細を決定する予定でございます。建設に当たりましては、先ほども申し上げましたとおり、最も効率的かつ経済的な手法を選択して取り組んでまいります。

なお、稼働後の維持管理費につきましては、現在構成市町村が負担している額を大幅に削減できるものと、このように考えております。今後、数十年にわたって使用する施設でございますので、経費の削減に向けて鋭意取り組んでまいりたいと、このように考えております。

○小宮 榮議長 戸口議員。

○12番 戸口 勝議員 それでは、再質問をさせていただきます。

ただいま管理者からの答弁のお話をいただき、今後効率的で経済的な運営をしていきたい、また建設費用の面に関してもそのような対応をしていきたいとの答弁でありました。そのときに、①番のことなのですけれども、オリンピックの影響が数値的にはある程度出ていると。しかし、私たち

住民がどのような理解をしていけるのか。今後どういうふうに通信をしていって、どのような理解をさせていくのかというような問題が大きく出てくるだろうと思います。抑制的に、今現時点で前段の埼玉中部広域清掃協議会の中で話し合われた予定金額があるだろうと思うのですが、その金額を大きく下回ることはなかなか厳しいだろうと私は思っています。そういったことの中で、どのようなご理解をいただけるような対応をしていくのか。そして、実際に実建設費に対しての予想額がどれくらい上がるのかということも、今後しっかりと算出していかねばならないと私は思っています。これがいつごろの予定になるのかについては、①番でお伺いをしていきたいと思ひます。

そして、2番目になります。前身の埼玉中部広域清掃組合の中では、関連施設のものは十分にお話をされ、さらには地域の方々の要望によりプール、そしてフィットネススタジオ、温浴施設、地域コミュニティルーム、農産物直売所、足湯、そしてスポーツ広場ということでの一応予定がなされているということです。今回、東京オリンピックの会場の建設費の高騰、さらには社会情勢の変化に伴ってどういった状況が、我々もこの地域にも襲ってくるのかわかりません。そういった中で、大きな莫大な金額を予想されることだけが、私たちの今現状の中では把握ができるだろうと思ひます。そういった中で、関連施設で最大でどれくらいを考えられるのかと。最大費用としてどれくらいが、今現実的に見込まれるのか。これは、先ほどの算出基準がありますから、それに当てはめていただければ出てくるものだと思うのですけれども、それについてもお伺いしていきたいと思ひます。

そして、3つ目、構成自治団体の実際、総合振興計画というものが現時点で、後期計画をこれから策定中のところが4自治体、さらには新たに第5次総合振興計画に向けて3自治体が考えていくということになるだろうと思ひます。その中では、その自治体の中でどのようにお金を使っていくのか、財政規模をどういふふうな状況に健全化していくのかという大きな狙いもそこに触れていかなければならない状況があるだろうと思ひます。そういった中で、大きな役割として、この広域行政をする上で、各自治体の金額がどこまで出せていけるのかということが大きな問題にはなるだろうと思ひます。同時に、高騰が予想される中で各市町村、今後ごみの有料化ということについても大きな話題になる方向になる、私はそう考えています。そんな中で、住民の方々がどう思ふのか。建設費の抑制をもっとかければ、そういうことがなくなるのではないかというような方向が必ず出てくるだろうと私は思っています。そんなときに、その不満を払拭するような、この組合での建設費抑制に向けての意志というものがどのようになるのか、それについてもお伺いしたいと思ひます。

以上3点になります。

○小宮 榮議長 戸口議員の再質問に対し、答弁を求めます。

新井保美管理者。

○新井保美管理者 やや具体的なお尋ねがあつたのですけれども、現在まだ計画中のところでございまして、細かい点について申し上げることはできませんけれども、まず1点目のオリンピック関連

ですけれども、できるだけ少ない経費で、できるだけ効率的な仕事をしていくということが我々には求められていますから、そういう状況について今考えられるのは、広報紙などを通してお願いをしていく。あるいは、構成市町村に状況をお知らせをして、それを各市町村で広報していただくと、このような手法もあるのではないかとこのように考えております。

それから、周辺施設の関係ですけれども、現在これから地域の理解が得られなければ、この事業は進めることができませんから、まず地域の理解を得ることが一番大事だろうと。そういう中で、どういう施設をどういうふうにつくっていくか、そのような点については今後検討し、協議すべき問題。まだ今のところは地域のご要望を伺って、それを図面化した程度のところですから、そういうふうな段階ではないというのが私の考えでございます。

それから、3点目のことですけれども、広域化することによって事業費が大幅に下げられるだろうというのが1つですね、経費の面からいくと。そのほかにCO<sub>2</sub>の排出ですとか、あるいは余熱を空中に放出してしまうのではなくて、余熱エネルギーを発電に使い、あるいは健康増進施設に使い、そういうふうにすることによって地域のためにもなっていく、そういうふうなことが考えられるので、多くの理解を得られるのではないかとこのように考えています。有料化などのお話も出ましたけれども、まだそういうふうな段階ではないというふうに考えておまして、今後事業が進む中で、具体的なことについてはそれぞれの機関で検討していただいて進めていくということになると思います。しかしながら、戸口議員さんが懸念されているような方向にならないように、無駄な経費はかけないというのは基本的な姿勢ですから、そういうところを基本に置いて進めていきたいというふうに考えております。

○小宮 榮議長 戸口議員。

○12番 戸口 勝議員 それでは、再々質問ということで進めさせていただきます。

今、管理者のほうから、今後、金額を抑制をかけながらという視点を持ってやっていきたい。だが、地域の理解というものが最も大切である。しかし、私たちの構成市町村の住民が、どちらに視点を置くべきなのかということも十分にご理解をしていただきたいなというふうに思っております。それが数式で言うならば、どちらが大なのか、小なのかという一概にはできません。もしかしたらイコールで結べるかもしれません。ということも十分考えていただきながらの建設の費用として考えていただきたいと思います。

そのときに、やはり管理者の意志、そしてまた執行部側の意思というものが大きな問題に、私は焦点になるだろうと思っています。これからの建設費の抑制に関する意思というものが、絶対にしていくぞと。抑制をかけていこう、今後の各自治体の懐事情の状況を考えながらも、この10年間で何が起こるかわからないという事情を察する中で、何が今できるのかということも十分に考えた上で、その意志を表明していただければありがたいと思うのですが、今それができるかどうかわかりませんが、管理者におかれましてはしっかりと、構成今8市町村になりますけれども、思いを酌ん

だ、その意志というものを明確に今後していただければありがたいと思います。

以上で一般質問を終わります。ありがとうございました。

○小宮 榮議長 以上で一般質問を終了いたします。

---

#### ◎閉会中の継続審査の件

○小宮 榮議長 次に、閉会中の継続審査についてお諮りいたします。

議会運営委員長から、次回の会議の日程について閉会中の継続審査としたい旨の申し出がありましたので、閉会中の継続審査として議会運営委員会に付託いたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小宮 榮議長 ご異議なしと認めます。

よって、議会運営委員長の申し出のとおり、次回の会議の日程等について議会運営委員会に付託し、閉会中の継続審査事件とすることに決定いたしました。

---

#### ◎管理者挨拶

○小宮 榮議長 以上で第2回定例会の議事は全部終了いたしました。

議員の皆様には、議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。心から厚くお礼を申し上げます。

ここで管理者から挨拶の発言を求められておりますので、これを許可いたします。

新井保美管理者。

○新井保美管理者 それでは、議長のお許しをいただきましたので、一言お礼を申し上げます。

本日は、慎重なご審議をいただきましたことに感謝を申し上げます。今期定例会のただいまの一般質問を通じていただきましたご意見等につきましては、今後の組合行政の運営に当たりまして十分参考にさせていただきたいと考えております。

9月が近づきましたけれども、まだまだ暑い日が続くようでございますので、健康に留意されまして、今後も引き続き組合事業にご協力をいただきますようお願いを申し上げます。御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

---

#### ◎閉会の宣告

○小宮 榮議長 これをもって、平成27年第2回埼玉中部資源循環組合議会定例会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

(午前10時27分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成27年8月21日

議 長 小 宮 榮

署 名 議 員 坂 本 俊 夫

署 名 議 員 佐 藤 洋